

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	－	－	－
	やや良く なっている	一般小売店 〔鞆・袋物〕 (経営者)	来客数の動き	・相変わらず観光客の来店が多く、免税品の売上が上がっている。
		百貨店（営業企画）	来客数の動き	・客層の幅を広げるために実施したライフスタイル雑貨店の改装効果により、客単価は下がっているが、レジ通過客数は前年に比べ8%アップしている。また、アジアを中心とした観光客の免税売上も、前年比130%増と順調に伸びている。
		その他専門店 〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・今月に入り、前年比の減少幅が少なくなってきたため少しは上向き傾向を感じるが、完全に回復したとは言えない。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・販売数が前年比で150%と大幅に伸びている。特にタブレットの販売が好調で新しいニーズができてきている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・先行予約は良かったが、西日本地区での豪雨災害や台風などの影響がある。
	住宅販売会社 (代表取締役)	お客様の様子	・マイホームという夢を叶えるためもあってか、住宅建築の相談が多い印象がある。	
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	販売量の動き	・入域観光客は増えているが、土産購入につながる割合が低いように感じられる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・休暇で里帰りをする人が多いが、売上は前年比で横ばいである。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年は台風の影響を3度受けたが、今年は前年よりも天候に恵まれ、観光客や地元の客も増えた。それに比例して各部門の売上も好調である。単価の落ち込みも無く底上げをしている。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・増税後の落ち込みは小さいが、長い間販売数量が伸びない。単価の上昇により売上は維持している。
		旅行代理店（マネージャー）	来客数の動き	・9月、10月の連休での旅行を計画している方からの問い合わせが多くなっている。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・需要はあるが、単価が伴ってこない。そういう部分がなかなか読めない。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・当初は、前年並みの予約で推移していたが、2回の台風接近によりキャンセルが発生し、前年を下回る結果となった。
	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・3か月前と同様の来場数となっている。	
やや悪く なっている	スーパー（販売企画担当）	販売量の動き	・来客数の悪い状況は続いているが、3か月前までは客1人当たりの購入点数が伸びて売上を押し上げていた。しかし、今月の購入点数は、前年を上回ってはいても3か月前に比べると減少している。そのため売上が落ちている。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が、前年比で3%減になっている。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・売上は例年並みに推移しているが、高原価商品を看板にする店舗が増えている。仕込などの準備が増えることから人件費が上がり、利益率が低下している。観光客は台湾からだともみられる外国人が増えている。	
	観光型ホテル (マーケティング担当)	販売量の動き	・台風の影響を受け、直近でのキャンセルが発生したこともあり、客室稼働率は、前年同月実績を下回る見込みである。	
	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動が原因か、売上が落ちている。	
悪く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数はある程度あっても、単価が下落しており、商店街の小売店は大変苦戦している。大型店では単価を下げて薄利多売もできるが、個人店ではできず、売上も落ちて大変厳しい状況にあるという話をよく耳にしている。	

		その他専門店 [楽器] (経営者)	販売量の動き	・問い合わせや来客数は増えているが、売上は前年には届かない。商店街も人通りは多く、特に外国人の数が前年よりも多いのがすぐに感じられる。しかし文化の浸透は浅く、地図など不慣れで移動に手間取るため、沖縄のお土産等の購入増加とはならない。また、相変わらず価格競争があり低価格の商品のみが売れる。まだまだ、厳しい状況が続く。
企業 動向 関連	良く なっている	—	—	—
(沖縄)	やや良く なっている	食料品製造業 (総務)	受注量や販売量 の動き	・引き続き観光客の増加に旧盆シーズンが加わり、販売額が増加している。
	変わらない	輸送業 (営業)	それ以外	・新規、既存顧客含め受注量は確実に増えているが、それをこなす人員不足が続いている。採用をかけるも補てんできず、既存従業員の残業が増えている。人件費の見直しなどで状況の打開を図るが全くめどが立たない。
		通信業 (営業担当)	取引先の様子	・IT関連の人材の確保が難しくなっていると感じる。求人を出しても人が集まらない。雇用形態は相変わらず有期契約がほとんどで、景気が上向いていると感じられない。仕事は十分確保できているが、相変わらず単価は低く、景気は3か月前に比べて変化はない。
	やや悪く なっている	窯業・土石製品 製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・公共工事向け出荷は前年比増であるが、民間工事向けは消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、前年比で減少している。
	悪く なっている	建設業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・新築及びリフォームとも、契約額が低下している。
雇用 関連	良く なっている	—	—	—
(沖縄)	やや良く なっている	—	—	—
	変わらない	求人情報誌製作 会社 (編集室)	求人数の動き	・5月の週平均件数は1,033件、8月は4週で平均903件であるが、売上の的には8月が若干上回っているの で、3か月前と比較すると景気的には変わらないとみられる。
		学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・求人数は増えてるが、偏っている感がまだ強い。
	やや悪く なっている	学校 [専門学 校] (就職担 当)	雇用形態の様子	・新卒採用より経験者採用が増えている。
	悪く なっている	—	—	—